

# 世界のビジネスエリートが身につける教養

## 「西洋美術史」

講師 西洋美術史家 木村泰司

社会がグローバル化するなか、特に欧米のエリート階級にとって必須の教養であり、コミュニケーション・ツールになっているのが西洋美術史、すなわち美術に対する造詣です。美術を知ることは、その国の歴史や文化、価値観を学ぶことになります。古代から近代までグローバルな「共通言語」である西洋美術史を二年にわたりたどります。



©高木昭仁

- ◆日時 第3日曜日 13:30～15:00 \*日程は変更になることがあります
- ◆受講料 会員20,217円/6ヶ月6回 \*入会が必要です(入会金5,400円/70歳以上は無料)

<今期カリキュラム>(2018年10月～2019年3月)

- 10/7 ギリシャ美術
- 11/18 ローマ美術
- 12/16 初期キリスト教美術
- 1/20 ゴシック美術
- 2/17 初期ルネサンス美術(前編)
- 3/17 初期ルネサンス美術(後編)

<講師紹介>木村泰司(きむらたいじ)

西洋美術史家。1966年生まれ。米国カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART 修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。『世界のビジネスエリートが身につける教養「西洋美術史」』(ダイヤモンド社)、『名画の言い分』『巨匠たちの迷宮』『印象派という革命』(集英社)、『名画は嘘をつく』シリーズ(大和書房)、『美女たちの西洋美術史 肖像画は語る』(光文社)、『おしゃべりな名画』(ベストセラーズ)、『西洋美術史を変えた名画150』(辰巳出版)など、著書多数。

お申込み・お問い合わせは下記にて承っております。お気軽にお問合せください。

# 世界のビジネスエリートが身につける教養「西洋美術史」

## <カリキュラム予定>

※2年間24回を予定しております。

※お申込みは1期(6ヶ月)ごとに承ります。途中受講も可能です。

### 2018年10月期(2018年10月～2019年3月)

- 1.ギリシャ美術
- 2.ローマ美術
- 3.初期キリスト教美術
- 4.ゴシック美術
- 5.初期ルネサンス美術(前編)
- 6.初期ルネサンス美術(後編)

### 2019年4月期(2019年4月～2019年9月)

- 7.盛期ルネサンス美術
- 8.ヴェネツィア派とマニエリスム
9. 初期ネーデルラント絵画
- 10 北方ルネサンス
11. 17世紀オランダ絵画(前編)
12. 17世紀オランダ絵画(後編)

### 2019年10月期(2019年10月～2020年3月)

- 13.イタリア・バロック美術(前編)
- 14.イタリア・バロック美術(後編)
- 15.スペイン・バロック美術
- 16.フランドル・バロック美術
- 17.フランス古典主義
- 18.フランス風景画の系譜

### 2020年4月期(2020年4月～2020年9月)

- 19.ロココ絵画
20. 18世紀ヨーロッパ美術
- 21.イギリス美術史
22. 19世紀フランス絵画
- 23.フランス近代絵画
- 24.印象派と後期印象派